



NO.113号 令和5年2月10日  
(公財)神奈川県少年少女育成指導協会

スカウト会館 館長 吉原 滋彌

☆☆

# “会館だより” 113号

☆☆

☆☆

## 課題に挑戦

### 新時代を切り拓く



久しぶりに行動制限の無い年末・年始を終え、コロナも少しずつ収束に向かい社会もコロナとの共存を前提とした経済社会システムへの変革を求められています。しかしながら、資源・原材料価格の高騰は収まる兆しがないことから世界経済の減速の影響を受けて、日本経済も厳しい状況ですが、年後半からは成長軌道への回復を期待しているところでございます。現在、我が国には地球規模の気候変動問題や人口減少・少子高齢化、財政再建、エネルギー問題など数多くの構造的な課題が山積しております。

私たちはかつて経験したことのない厳しい社会経済環境に直面しており、時代の転換期を迎えております。私は、こうした様々な課題に果敢に挑戦して新たな時代を切り拓いてまいりたいと考えております。又、世界的な喫緊の課題であるSDGs、また、カーボンニュートラルの推進を支援していくと共に、「成長戦略」を推進し、次世代を担う産業の創出に尽力致します。そのためにも次世代を担う子供たちを育成していく事が必須であり、ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会の活動を通じて青少年の活動拠点を提供することで活性化を支援・推進していきたいと思います。各団体の活動も徐々にウィズコロナで対面活動が復活してきていると思いますので、活性化拠点としての活用をお願いいたします。子供たちが輝ける社会の創出に向けて、皆様の活動に期待をしています！

令和5年 冬

公益財団法人 神奈川県少年少女育成指導協会  
理事長 上野 孝

**賛助会費納入 ありがとうございます**

(令和4年10月1日 ~ 令和5年1月31日)

☆法人会員 (1口 30,000円)

(株) サクラ

☆個人会員 (1口 12,000円)

盛屋喜美子 石川雄司 フラワーサークル・オリーブ レディース太極拳 輝音 プリランテ中沢 ひばり会  
アトリエ・ユキ 小池喜美子 荒井紀美子 新井貴 ボーイスカウト維持財団：清水良夫 濱田雅弘 (2口)



# スカウト会館 大改修工事終了

会館は、昭和 55 年(1980年)10 月に竣工以来 42 年が経過し、壁面塗装・防水工事など個別に修復がなされてきましたが、トイレをはじめ経年劣化が進んでいることから、令和 3 年度第 2 回定例理事会にて計画を承認し、令和 4 年度第 1 回定例理事会にて施工業者を選定、令和 4 年 7 月工事に着手し、11 月 20 日に無事、引き渡し式を行い竣工致しました。

## 改修概要

1. 資料棟の解体
2. 会館 1～3 階 トイレ改修 ⇒トイレ器具、配管等リニューアル致しました。



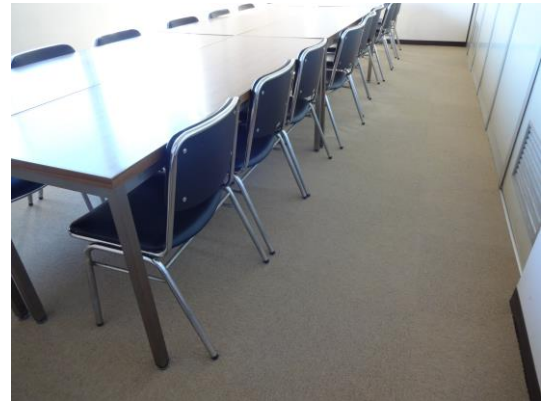
3. 和室をフローリングに改修 ⇒ボーイスカウト神奈川連盟の資料室を設置致しました。
4. 屋上・窓枠の防水工事 ⇒屋上に最新の防水工事を施工し外壁の補修・塗装工事を施しました。



5. 会館建物附属駐車場をボーイスカウト倉庫に改修 ⇒壁を設置し倉庫に改修しました。
6. 配水用施設の撤去 ⇒ポンプルーム、揚水配管の撤去を行いスマートになりました。



7. 食堂・会議室の床張替え ⇒フローアパネル、フローカーペットに張り替えました。



## ボーイスカウト 短 信

### 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟100周年記念式典に関して

ボーイスカウト日本連盟 創立100周年記念式典が令和4年11月26日(日) 明治神宮会館 で行われました。天皇陛下・皇后陛下のご臨席を賜りました。翌日、全国事務長会議の席にて日本連盟事務局長から天皇・皇后さまご臨席に関するエピソードをお話いただきましたのでご紹介したいと思います。

#### ★お召し物について

当日の服装は、スカウトグリーンネクタイに胸には名誉富士スカウト章をつけておられました皇后陛下もスカウトグリーンでコーディネートされたお召し物でした。

これまで、日本ジャンボリー・日本で開催された世界ジャンボリーには何度も皇太子としてご臨席賜っていました。ご臨席のさいはボーイスカウトの象徴でもあるネッカチーフをつけていただきました。

今回の式典でも是非ネッカチーフをつけていただけませんか？と宮内庁にお願いしたところ、陛下は公式の式典では服装に決まりがあり着用できない。と回答があったそうです。

当日のお召し物は陛下と皇后さまがご相談されて決められたようです。また胸の名誉富士スカウト章のワッペンも陛下自らお付けになったと聞きました。

#### ★スカウトとの懇談

陛下はスカウトとの懇談を楽しみにされており、代表スカウト6名との懇談は予定の時間を大幅に超えてしまったそうです。式典で陛下のお言葉の後、3人の代表スカウトが決意の言葉を述べました。

天皇皇后両陛下が降壇される時、両陛下に続き関係者は進もうとしましたが、舞台のそでで立ち止まりなかなか進みませんでした。この時も陛下は代表スカウト一人ひとりにお声をかけてくださっていたということです。

ここでは、陛下がスカウトに声をかけるという予定は無かったということです。

(0)



## 子ども会 短 信

### 令和4年度子どもフェスティバルを終えて



子どもフェスティバルが、主催県立青少年センター、共催県子ども会連絡協議会で、1月29日(日)に県立青少年センターで3年ぶりに開催されました。当会は、県子ども会大会と工作とバルーンのブースを担当しました。子ども会大会では、県内の15年以上活動している優良子ども会の表彰式やジュニアリーダーの活動発表をジュニア(高校生年齢相当の青少年)やユースリーダー(大学生以上の青少年)と10月から準備を進め当日をむかえました。また、ボーイスカウト、ガールスカウトのみなさんや各青少年関係団体からもブースを出展して頂き、多くの方々のご協力により開催することができました。

コロナ禍での開催なので、密にならないように人数制限、検温消毒など、注意をおこないながらのため、定員450名のところ、731名という多くの方からの応募がありました。抽選制としたため、全員の方に参加していただけずに、本当に残念で申し訳ない思いでいっぱいでした。

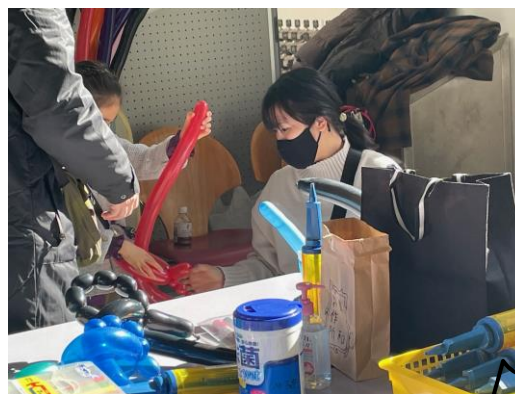
今年は「できることがそう！できないことやってみよう！」のテーマのもと、館内は、楽しそうな子どもたちの笑顔につつまれた1日でした。来年は、もっと多くの方が参加できるようになることを祈るばかりです。コロナ禍ではありますが、注意をしながら今子どもたちにできることやってみようではありませんか？

(H)

子ども会大会



県子連ブース(バルーン)



## スカウト会館 短 信

### 令和4年度注連縄作り

例年開催されている注連縄作りを実施いたしました。参加者 28 名と盛況に開催されました。(Y)

